

竹原市 収 受
竹 第 号
016.27
年月日
分類記号

資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	係 長	局 員
					

令和元年6月27日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 井上美津子 

視察・調査場 所	広島市南区金屋町1-17 ワークピア広島
期 日	令和元年 6月 3日
経 費	18,460円
参加者氏名	井上美津子
視察・調査目 的	「学校における働き方改革」の要点と解説のセミナーを受講し、今後の学校教育の在り方を研修し、議員活動に反映させる。
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>教育行政基礎講座② (資料添付)</p> <p>「学校における働き方改革」の要点と解説 ～教育現場の最新議論をおさえよう～</p> <p>① 学校における働き方改革が求められる背景 ② 学校における働き方改革の概要 ③ チーム学校とは ④ 多忙化解消のための学校マネジメントとICT化の論点整理</p>
効果・成果等	<p>学校における働き改革の推進するには、時間外郎号の上限規制だけでなく、教員の意識改革やチーム学校、ITCの活用による業務効率化、マネジメント強化等を一体的に取り組んでいかななくてはならないこと、また、「学校、地域、家庭」それぞれが役割を担い分できるような体制づくりが必要であることを学習しました。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

6月3日(月)

10:00  
↓  
12:30

**教育委員会制度とは**  
～教育委員会の組織論と現実論～  
・教育委員会制度の概要  
・教育委員会の現状と課題  
・教育委員会を動かすためのポイント

14:00  
↓  
16:30

**「学校における働き方改革」  
の要点と解説**  
～教育現場の最新議論をおさえよう～  
・学校における働き方改革の概要  
・チーム学校とは  
・多忙化解消のための学校マネジメントとICT化の論点整理

# 基礎講座 教育行政

6月4日(火)

10:00  
↓  
12:30

**未来を見据えた持続可能な  
地域を目指した教育の実現**  
～小中一貫教育と学校規模適正化とは～

- ・2030年の社会から逆算する学校づくり
- ・小中一貫教育の概要
- ・学校規模適正化の論点整理

14:00  
↓  
16:30

**地域と共にある学校づくりを  
目指して**  
～地域の各種社会教育関係団体と協働する  
コミュニティ・スクールとは～

- ・コミュニティ・スクールの概要
- ・各種社会教育関係団体の概要
- ・地域とともにある学校づくりのためにおさえておきたいポイント

in 広島

講師

みずの

たつろう


水野 達朗



講師  
プロフィール

一般社団法人家庭教育支援センターヘアレンツキャンフ代表理事、文部科学省「家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会」委員、文部科学省「家庭教育支援チームの在り方に関する検討委員会」委員、大阪府大東市教育委員、「家庭教育支援手法等に関する検討委員会」委員など不登校の復学支援や予防・開発的な家庭教育支援を精力的に行っている。自治体対象の家庭教育支援プロジェクトなどの社会的支援や、国の家庭教育支援政策、家庭教育の重要性を啓発する講演会やセミナーなども行っている。著書に、「無理して学校へ行かなくてもいい、は本当か」(PIIP研究所 2015年10月出版)など。

竹原市収受
竹第号
02.2.-6
発着年月 月 日
伝票番号 保存年数

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

資料様式第3号

令和2年2月6日

議員（視察・調査・研修）結果報告書

議員氏名 井上 美津子



視察・調査場 所	新大坂 丸ビル別館5階
期 日	令和2年1月20日 ~ 令和2年1月21日
経 費	72,120 円
参加者氏名	井上 美津子
視察・調査目的	率直に語る地方議員に関するお金の考え方 質問方法スキルアップ研修初級編 質問方法スキルアップ研修応用編
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	講師 高橋 伸介 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政務活動費の改革</li> <li>・ 報酬審議会で議論しても横並びのわけ</li> <li>・ 議員年金をあらためて考える</li> <li>・ 地雷を踏むな。使途基準の考え方</li> <li>・ 質問レベル4段階</li> <li>・ 質問する前の注意点</li> <li>・ 一般質問と議案質疑の何が違うか</li> <li>・ 議会答弁への対応ケーススタディ</li> <li>・ 行財政改革の質問を16年してきました。これからの質問の考え方</li> <li>・ 質問や議会活動で自治体をどう導いていか</li> </ul>
効果・成果等	この度のセミナーに参加して、議員の役割や質問・質疑の在り方などを学習しました。私の思いと違う点があることがわかり、改めて参加してよかったですと思いました。 セミナーの内容が、これからの議会で活用でき、少しでも議会の活性化に繋がればと思っております。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

## ポイント

### ○地方議員報酬・議員定数・政務活動費・年金問題を正面から考える

- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と、議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・政務活動費が絡む事件を分析してみる
- ・2014年6月に発覚した兵庫県議野々村氏の事件を掘り下げて考える
- ・政務活動費を先払いから後払いへ、同時にネットでの公開を進める
- ・政務活動費、枚方市議会の流れ
- ・政務活動費月額1万円以下の今後の処遇
- ・京都市会政務活動費運用基準の説明
- ・基準は裁判結果で変わらざるを得ないときがある。但し、裁判官も地方政治に精通しているとは限らない
- ・議員報酬については特別職非常勤の性格から地方自治法203条の変遷を深読みする
- ・議員活動、議会活動、政治活動、選挙活動の言葉の定義を熟考し違いを説明できるようにする
- ・三重県議会の取り組みを参考に
- ・類似団体横並びから、その議会にあった独自の基準作りへ
- ・議員定数については「会議」に必要な人員から定数を検討する
- ・大森 彌氏、江藤俊昭氏の考え方から必要な人員を考える
- ・議員年金については厚生年金案を元に議員の活動実態を検証する
- ・集約化・多様化の流れとして町村議員の兼業制限緩和の流れも

## ポイント

### ○議会質問の基礎基本と行政が「なるほど」と思うポイントについて

- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と、議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手であるという認識を持つ
- ・標準議会会議規則と当該議会会議規則を理解する・・・ほとんど同じの事が多い
- ・議会基本条例で変わるところ
- ・議会質問における一般質問と議会質疑の違いを徹底的に理解する
- ・運用上、常任委員会質疑ではレンジを広く運用している議会が大半
- ・質問スタイルをレベル1からレベル4まで4つに分類し説明
- ・質問に先立ちヒアリングの重要性 質問貯金箱を作る
- ・執行部や職員の方がより多くの情報を持っている どう引き出すか
- ・可能な部分は執行部と調整を図る バイアスをかけないよう心がける
- ・重要な質問は角度を変え議会ごとに行う 個人で行う波状型と会派内でのリレー式
- ・リソース RESAS (Regional Economy (and) Society Analyzing System) の可能性
- ・市長を3つに分類し質問スタイルを変えてみる
- ・執行部から一般質問に求められるものを考える
- ・調査なくして発言権なしと心得る
- ・議会運営に当って「禁止」されていなければ「独自の解釈」で行う
- ・日本国憲法第92条「地方自治の本旨」を再考する

## ポイント

### ○より執行部に対して有効な質問の仕方とは

- ・理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手
- ・活動原点として直接選挙による4年間の仕事と議会内、行政内における環境醸成の必要性
- ・初級編のおさらいとして議会質問の基礎基本を確認
- ・新規事業立ち上げに学ぶ質問骨子の作り方
- ・あらゆる「やり方」(質問作成)にも通用するPDCAサイクル
- ・議会運営はPDDCAサイクルの流れ、質問作成にも応用
- ・財政破綻寸前の自治体が議会質問をテコに行財政改革を進めた例
- ・今後の議会活動を見据え「反対」を「指摘・改善」に留め、「賛成」することも考える
- ・首長側から議会へ仕掛けられた例
- ・福祉増進を目標とする選択と集中に関する質問
- ・戦略的に重要なものとそうでないものに対するファシリテイマネジメント系の質問
- ・事務事業精査を質問に生かす
- ・人口減少少子高齢化時代の質問の注意点
- ・リソース RESAS (Regional Economy (and) Society Analyzing System) による見える化
- ・優秀な市長からみた、良い質問について「なるほど」と感じさせる
- ・議会質問に正解なし、よりマシな方向へ合議を尽くす